

JET からの手紙

SNS 時代の国際交流へ

札幌市経済観光局観光・MICE 推進部 国際交流員
Lara Horin (ララ・ホリン)

はじめに

私が国際交流にはじめて触れたのは、大学3年生の時でした。立教大学に留学していた際に、東京在住の難民の方と一緒に活動する団体でインターンシップを経験し、イベント企画の担当者として、毎月、難民の方々と日本人が話し合える場を作りました。この活動を通して、異文化コミュニケーションを学び、さまざまな国と日本の懸け橋になることに大きなやりがいを感じるようになりました。社会人になってからも、異文化交流のスキルを活かせる仕事に就きたいと考え、国際交流員（CIR）に応募しました。



ロンドンで開催された商談会（WTM）での商談の様子

札幌市の CIR になってからあっという間に2年が経ち、毎日が新しい発見と学びの連続で、想像以上に充実しています。本稿では、市での業務について詳しくご紹介させていただきます。

札幌はビールだけではありません！

札幌市観光・MICE 推進部の CIR は、他の地域の CIR

とは業務が少し異なっているかもしれません。自国の文化などを市民に伝えることよりも、外国人観光客を誘致することが主な仕事です。

例えば、海外の商談会などでの札幌のプロモーションを行ったり、市内で開催される国際会議やイベントなどで通訳をしたり、海外のメディアや旅行会社の招請に携わったりと、さまざまな業務に関わらせていただきます。



さっぽろ雪まつり

私が主に担当している欧米豪市場では、札幌市といえば有名な「サッポロビール」や「さっぽろ雪まつり」のイメージしか持っていないという方が多いのが現状です。しかし、都会と自然の両方を1年中楽しめる都市である札幌市の魅力を発信し、サッポロビールや雪まつり以外についても知ってもらうことで、市の認知度を上げることを目標に、日々の業務に取り組んでいます。

札幌から世界への発信

ほかには、@visit.sapporo という外国人観光客向けの札幌市公式 Instagram の運営を担当しています。毎

週、観光スポット、名物料理、穴場など、観光に役に立つ情報をリール動画（Instagram 上の短い動画）にまとめて投稿しており、2024年1月時点でのフォロワー数は2万人を超えています。動画のアイディアは、取材を通じて知り合った人々、旅行雑誌や本、テレビなどからヒントを得るほか、プライベートで街を散策している時のひらめきも大切にしています。



@visit.sapporo

@visit.sapporo のフォロワーからアイディアをもらうこともあります。例えば、「札幌でプロポーズするなら、どこがいいか」「おすすめのベジタリアンレストランはあるか」「ドラマのロケ地に行きたいが、場所がわからない」などの問い合わせに応じて、リール動画を制作しています。

今までで一番注目を集めたリール動画は、看板犬のいる市内の焼き芋屋さんです。この焼き芋屋さんでは柴犬のシュウくんが、毎日、店頭で立って焼き芋を販売しています（なお、収益の一部は、北海道の動物保護活動を行うNPOに寄付されます）。このリール動画は約200万回再生され、13万件の「いいね！」を獲得しました。その結果、海外からのお客さんが大



柴犬の焼き芋屋さんについてのリール

幅に増えたという話をお店の方から聞き、初めてSNSが実生活に与える大きな影響力を実感しました。

それ以来、観光客が知らないような場所、地元の中小企業や地元で活躍している人々に焦点を当てて発信をするようにしています。多種多様な素晴らしい人々と接する中で、皆地元のコミュニティを大事にしているという共通点があることに気がつきました。例えば、コロナ禍に札幌市内の hostel やカフェの一部をホームレスシェルターにして人々を支えた hostel 経営者の方や、公園で自然素材を使った作品を作り、地元の人たちに楽しんでもらおうとする地元アーティストの方、顧客から推薦

された食品を取り扱う地域密着型スーパーを80年以上にわたって経営している家族など、どの方も色々な形で地元のために活動しています。



地元アーティストの田中宏美さんと彼女の作品

Instagram でこのような人々や地元産業について紹介すること自体が、ある意味で SNS 時代の国際交流だと言えるのではないのでしょうか。

おわりに

私は寒がりなので、初めは札幌市という豪雪都市で暮らせるのか心配していました。しかし、この2年間を通して、新しいことに挑戦したり、地元で活躍している素晴らしい人々に出会ったり、人生で絶対やることはないだろうと思っていたスキーもやってみたりなど、毎日楽しい生活を送っています。

CIR として得たスキルを活かして、これからもさまざまな形で国際交流を頑張っていきたいと思います。

プロフィール



Lara Horin (ララ・ホリン)

イギリスのロンドン出身。ケンブリッジ大学の日本学科在籍中に、立教大学に1年間留学し、日本への愛がさらに強まる。大学卒業後は、異文化コミュニケーション力を伸ばすために、JETプログラムへの参加を決意。将来の夢は、クリエイティブな業界で働くことを通して、イギリスと日本の懸け橋になること。